

「出題の意図」

<p>選抜区分</p>	<p>2022年度 (選抜区分：学校推薦型選抜) 外国語学部 国際関係学科 (科目名：小論文)</p>
<p>出題の意図 (評価のポイント)</p>	<p>1.出題の背景・求める能力</p> <p>【出題の背景】 小論文は、英文の資料 1 とそれに関連する和文の資料 2、3 の三つで構成される。資料 1 は Devito Arudou, “Yes, I Can Use Chopsticks” (The Japan Times, 5 May 2012)、資料 2 はデラルド・ウィン・スー『日常生活に埋め込まれたマイクロアグレッション』(明石書店、2018 年)、そして「就活「らしさ」押しつけないで」『朝日新聞』(2021 年 5 月 17 日) から、それぞれ一部を抜粋・変更して出題した。昨今話題となっている「マイクロアグレッション」は、人権侵害を考えるうえで大切な争点である。この問題について、アメリカ合衆国と日本でどのように認識されているかを資料から読み取る問いを課した。資料 2 と資料 3 は平易な日本語で事例を説明したものであるが、英文で説かれているマイクロアグレッションとは何かを理解していないと、解答にみちびけない問題である。</p> <p>【求める能力】 問 1 は、資料 1 で論じられているマイクロアグレッションを日本語で説明する問題である。下線を引いた部分はマイクロアグレッションの核心で、それを資料 1 の具体例をもちいて説明せねばならない。マイクロアグレッションの定義が文章のいくつかの箇所にわかれて提示されているため、内容を理解して解答を組み立てるには相応の英語力と日本語力が必要となる。資料 1 の内容を箇条書きでまとめ、それを正しい日本語にまとめていく能力が試されるといってよい。また、マイクロアグレッションという言葉にこれまで出会ったことがなくても、人権侵害が国境を越えた社会問題である以上、グローバルな観点を重視する国際関係という学問を学ぼうとする者なら、日常にひそむ差別に敏感であってほしい。こうした感性も、英語で書かれた論説を読解し、その要点を整理するための論理的な思考力と表現力とともに試した。</p> <p>問 2 は、二つの日本語で取りあげられているエピソードをもとに、マイクロアグレッションを説明する問題である。資料 2 も資料 3 もその内容は平易であるが、それを資料 1 の著者の意見と関連させる力が問われる。答案の基礎は資料 1 で示されたマイクロアグレッションの理解にあり、その理解の上に資料 2 と資料 3 のエピソードを読み解かねばならない。英文の資料を正しく読み取る読解力と、資料 2 のエピソードを適切な形にまとめる論理的思考力・表現力を試みる問題である。</p>

2.解法

資料 1 の英文は、やや独特な言い回しがあるものの、語彙・文法は平易で、事例は読み進めながら想像しやすい。設問は「下線部が意味するところを資料の具体例を用いながら説明する」というものだったが、資料 1 全体を読み解く力が充分ではないために、解答に必要とされるマイクロアグレッションの把握ができずにいるものが散見された。結果的に、得点に結びつく説明がなされていなかったり、苦肉の策としてか、文脈から外れて解答者が有する知識や主張を展開していたりする答案もあった。中には、誤字脱字が目に見える答案や、過度な長文、主語と述語が対応していない文章もあった。

問 2 は資料 1 の理解が基礎であり、資料 1 を書いた著者の意図を踏まえて回答する問題である。自分の考えや意見を自由に述べる問題ではないことに十分留意してほしい。設問で問われているのは、資料 2、3 からエピソードを列挙し、それがどのような差別なのかを説明することである。マイクロアグレッションとはどういうものか、そしてマイクロアグレッションに抗議しなくそうとするときに出会う困難を書けているかどうか、採点のポイントである。問 1 が十分に解けていないと、問 2 の答案も不正確になる。資料 2 と資料 3 のエピソードに触れて自分の考えを述べるだけでは答えにならないのである。なお、主語と述語が対応していない文章や誤字・脱字は減点対象になるので、十分に気をつけてほしい。また、指定された字数にはるかに満たない答案は、得点に結びつかない。

➤受験生への情報提供

本学科の推薦入試対策のカギは 3 点です。

1.国際関係に対する関心を養う

国際関係を学ぼうとする学生には、普段の勉強や活動において国際ニュースや身近な国際関係についての関心を持つことが望まれます。

2.英語力

多様な国際社会で最もよく使われる言語は英語です。英語力を高めるには、高校までの履修内容をしっかり習得することが基本ですが、その応用力も必要です。インターネットや英字新聞を活用して語彙力を伸ばしたり、理解力を高めたりするように努めましょう。

3.国語力

小論文対策では国語力が重要になります。正しく読み取り、的確に表現できるように、日々の練習を積み重ねましょう。特に、短い試験時間では助詞(「てにをは」など)の使い方が曖昧になったり、論理の飛躍や矛盾が起こったりしがちですから、気をつけましょう。

努力の成果が表れるには時間がかかります。早めに準備を始めましょう。